

グローバルの賃金動向とリスクリングの実態

「グローバル転職実態調査2023」 報告書 - リスクリングの再考 -

Indeed Hiring Lab エコノミスト 青木雄介

2024年6月17日



Agenda

01

Indeed Hiring Lab 紹介

02

グローバルの賃金動向と転職動機

03

グローバルのリスキリングの実態

01

Indeed Hiring Lab 紹介

Indeed Japan株式会社 Indeed Hiring Lab エコノミスト 青木 雄介



Indeedのデータを活用してOECD各国及び日本の労働市場を分析し、外部関係者に向けて分析結果・インサイトを発信。

以前は、NERAでエコノミスト、EYでデータサイエンティストとして、政府・民間・司法機関に向けた経済統計分析及び報告書作成に従事。

ユニバーシティ・カレッジ・ロンドンで経済学の修士号、東京工業大学で経営工学学士号を取得。

Hiring Lab

Economic Research **by Indeed**



<https://www.hiringlab.org>

概要

- ❑ 60カ国以上で月間3.5億人が利用する世界No.1の求人サイト「Indeed」のエコノミックリサーチ機関
 - ❑ 8カ国の拠点をもち、エコノミストとデータサイエンティストが、Indeedの膨大な求人データを基に世界の労働市場を経済的観点から分析し、知見や洞察を提供
-

役割

- ❑ メディア、研究者、政策立案者、求職者、採用企業に向けて、世界の労働市場に関する経済的観点からの分析を情報提供
 - ❑ 中央銀行等、政策決定機関へのデータ共有・パートナーシップ
-

強み、データの特徴

- ❑ データ・専門的知見に裏付けされた分析と見解
- ❑ 「市場代表性」「リアルタイム性」「先行性」のあるデータ

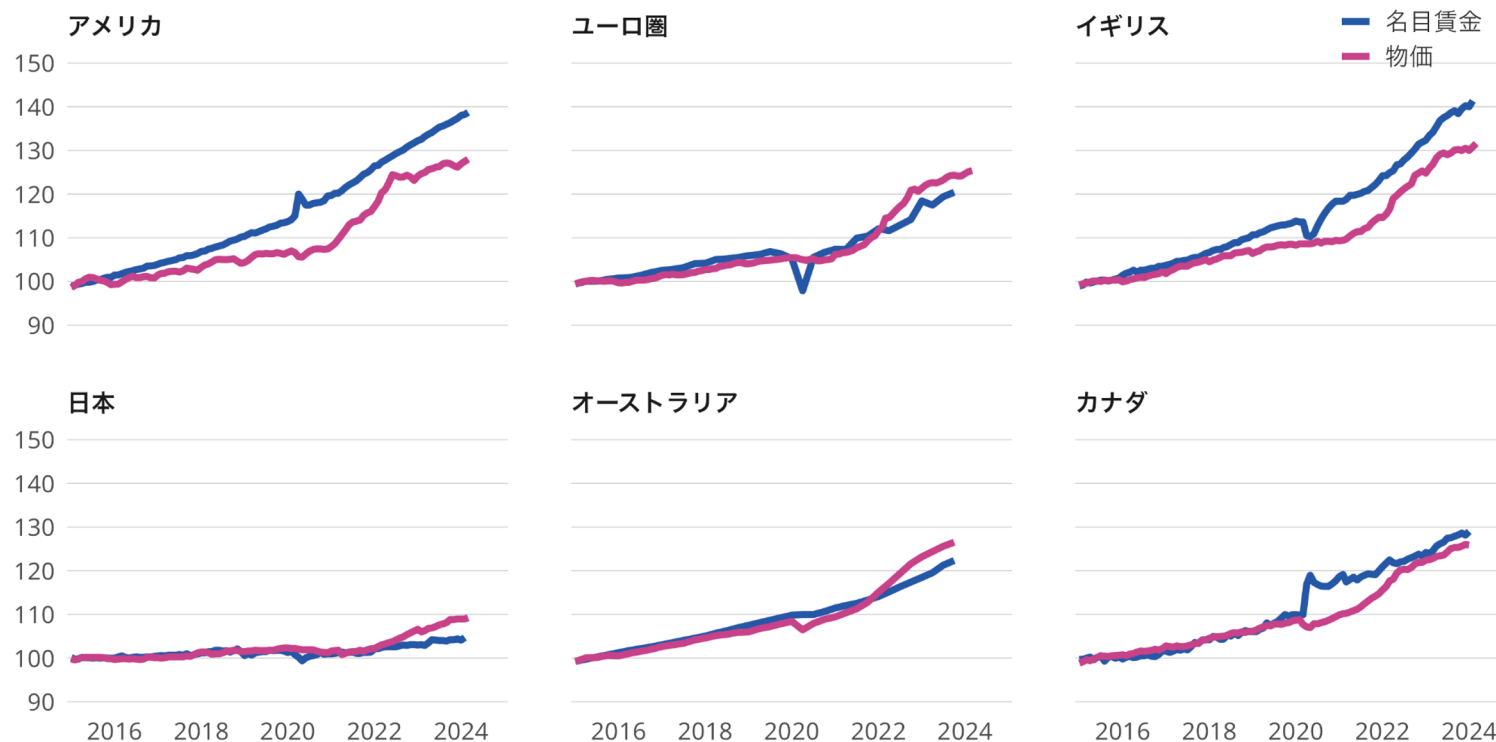
02

グローバルの賃金動向と転職動機

賃金と物価推移：日本は両方伸びづらく、賃金上昇が物価上昇を下回る

賃金と物価の伸びは各国でばらつきがある

名目賃金の指数(青)と消費者物価指数(赤)、2015年=100

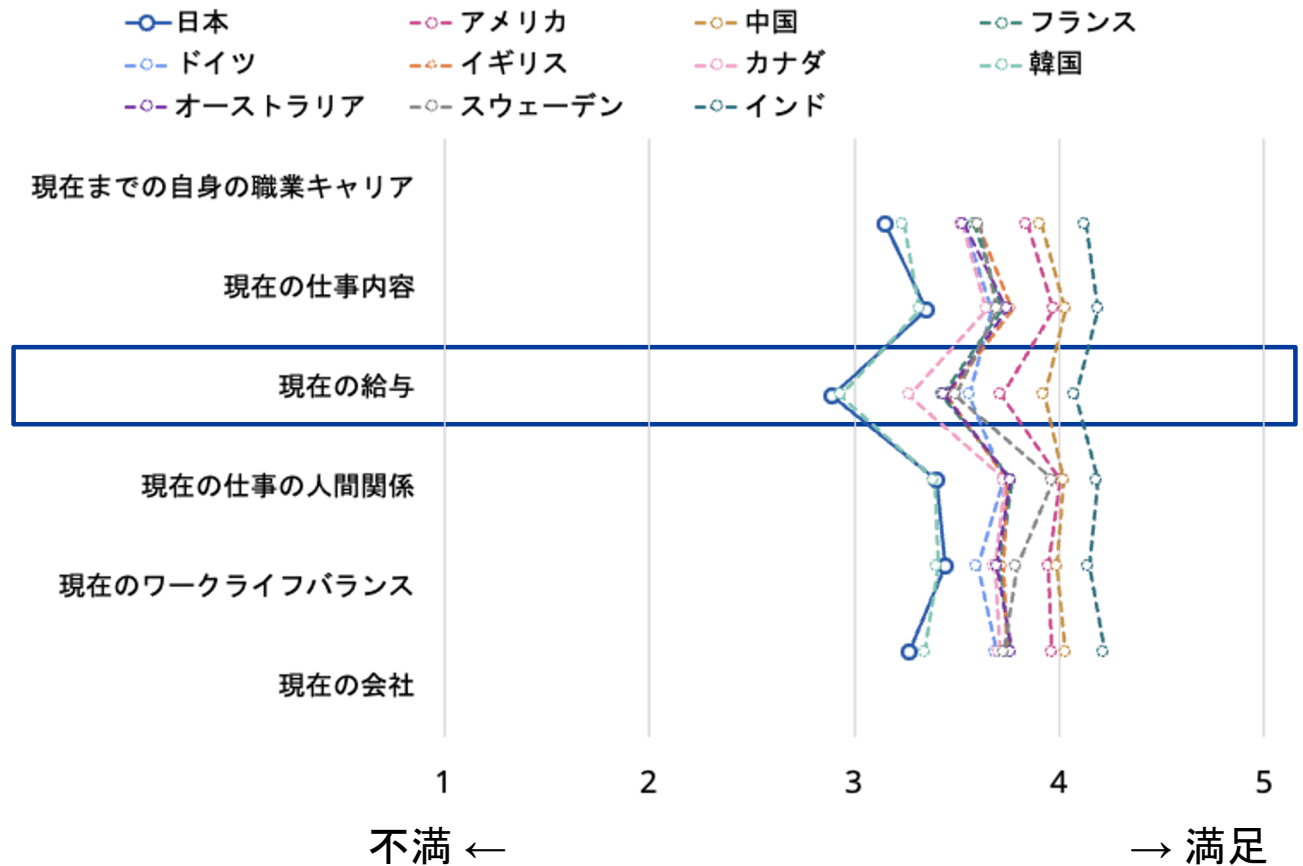


出所:OECD, FRED, BLS, ECB, ONS, ABS,Statistics Canada, MHLW, MIC。

給与を中心に、日本は仕事の満足感が低い

Q.あなたはキャリアや仕事についてどの程度満足していますか？（それぞれひとつだけ）

※1.とても不満である、2.不満である、3.どちらともいえない、4.満足している、5.とても満足している、における平均スコアを算出。

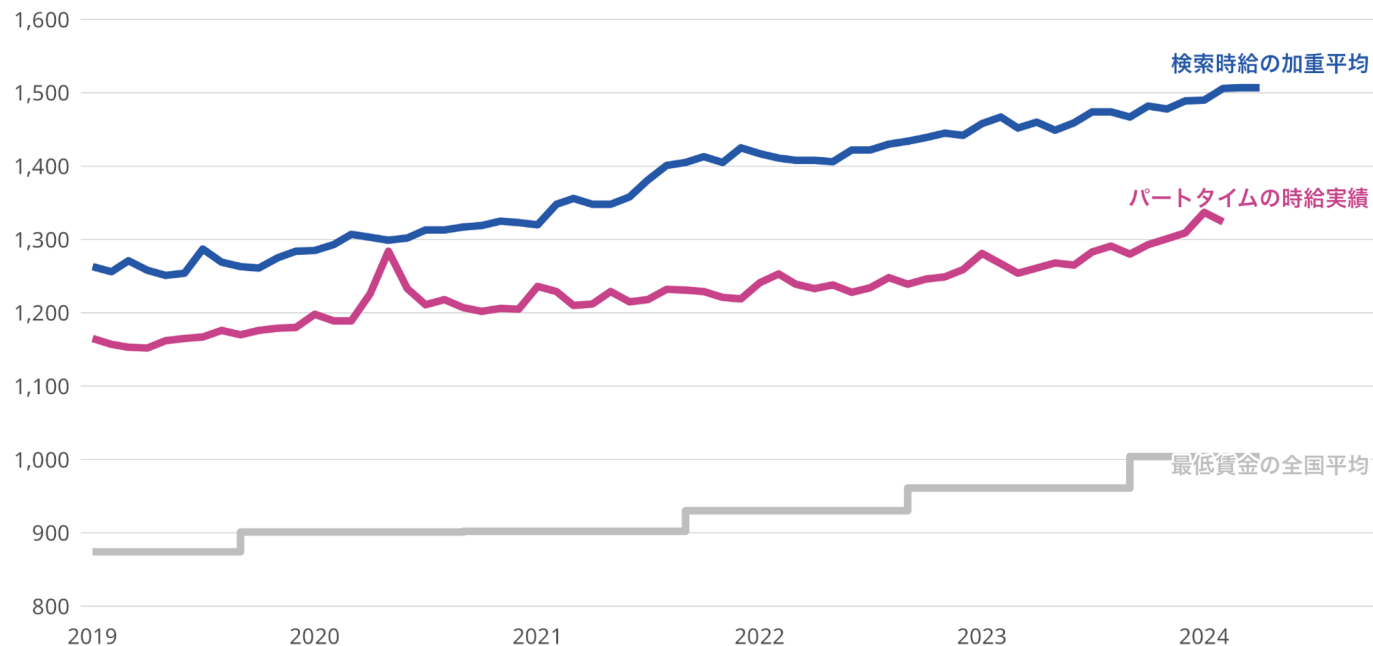


出所:リクルート・Indeed 「グローバル転職実態調査2023」

より給与を高めたい意向が、Indeedデータから確認される

検索時給はより大きく上昇

検索された時給の加重平均、パートタイムの時給実績、及び最低賃金の全国平均 (円)



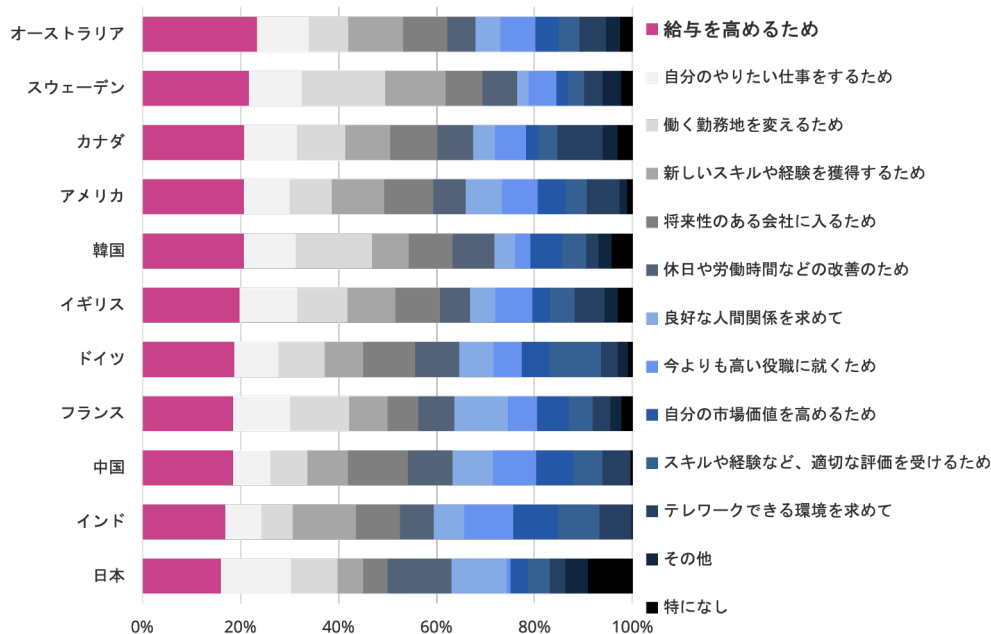
出所: Indeed・厚生労働省。



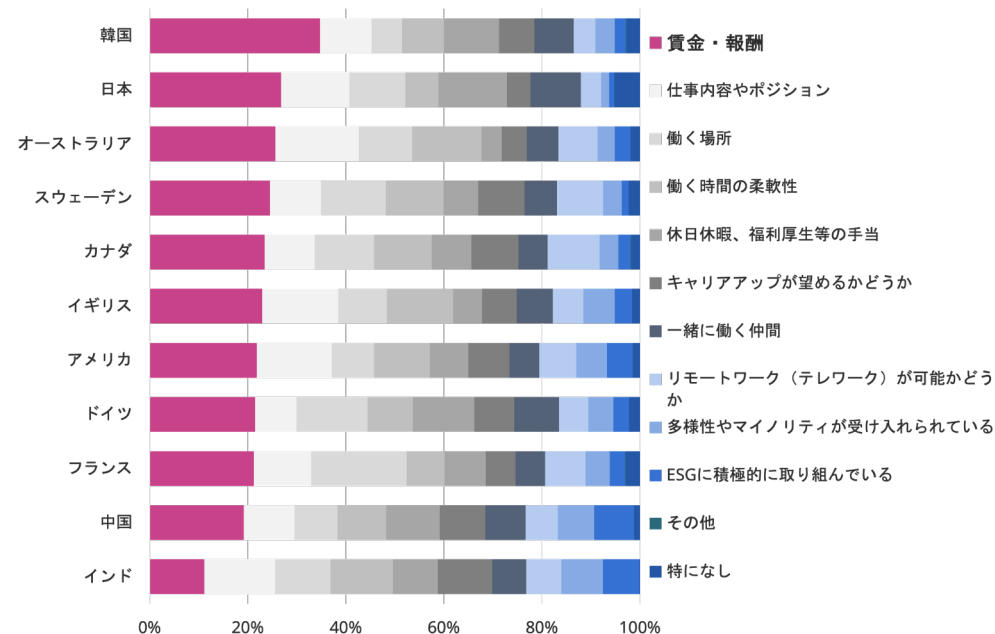
関連分析記事: [Indeed Hiring Lab “仕事探しにおける検索時給の動向:求職者の希望時給は1,500円近くまで上昇”](#)
Indeed プレスリリース“[仕事探しにおける検索時給動向を調査](#)”

転職の目的や企業選びで「給与」を重視するのは、どの国も共通

Q.直近の転職の目的を教えてください。最も当てはまるものを1位として最大5位までお答えください。
(以下では1位のみ集計)



Q.今後転職活動をする際に、企業選びで重視する点を教えてください。最も当てはまるものを1位として最大5位までお答えください。(以下では1位のみ集計)



賃金は何に影響される？

同じ職種でも賃金は異なる



Credentials (資格)



Experience & Skill (経験とスキル)



Industry / Employer (産業または雇用主)



Job tasks (仕事内容)



Geographic location (地理的な場所)



Success & Performance (パフォーマンス)

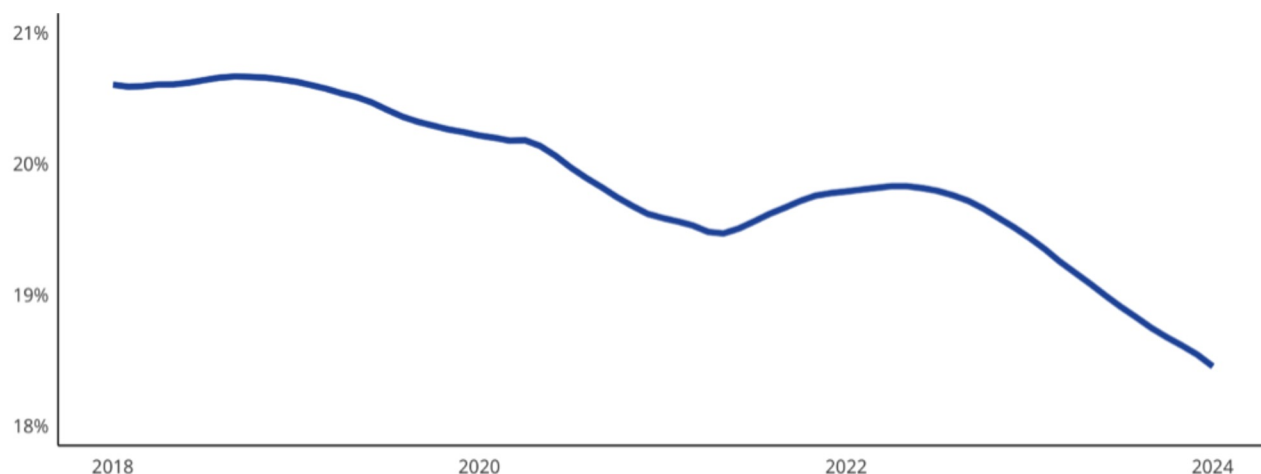
03

グローバルのリスキングの実態

アメリカでは、学歴要件や経験要件が緩和され、 相対的にスキルの重要性が従前より増している

雇用者が学歴要件を求人に含まないケースが増えている

学士号以上を要件にしている求人シェア推移、アメリカ



出所：Indeed。12カ月移動平均。データは職種の構成比変化を考慮した調整値であり、求人で言及された最も低い学歴要件をベースとしている。



関連分析記事：

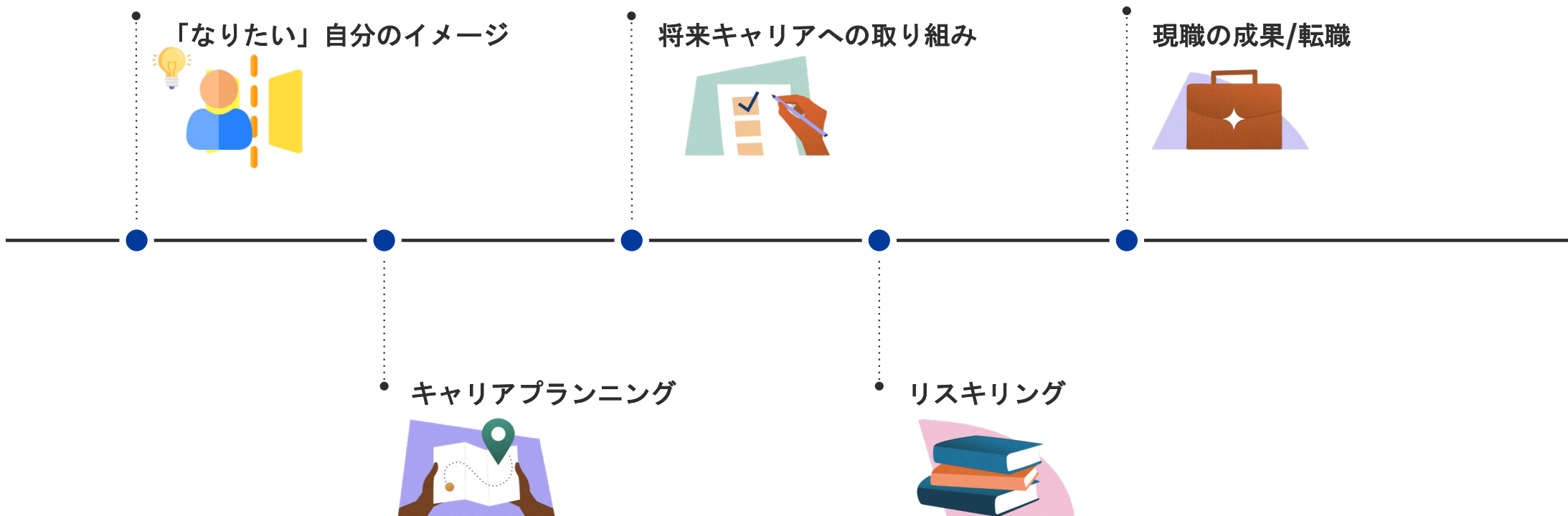
- [Indeed Hiring Lab “Experience the Difference: Why Employers Are Relaxing Some Tenure Requirements”](#)
- [Indeed Hiring Lab “Educational Requirements Are Gradually Disappearing From Job Postings”](#)



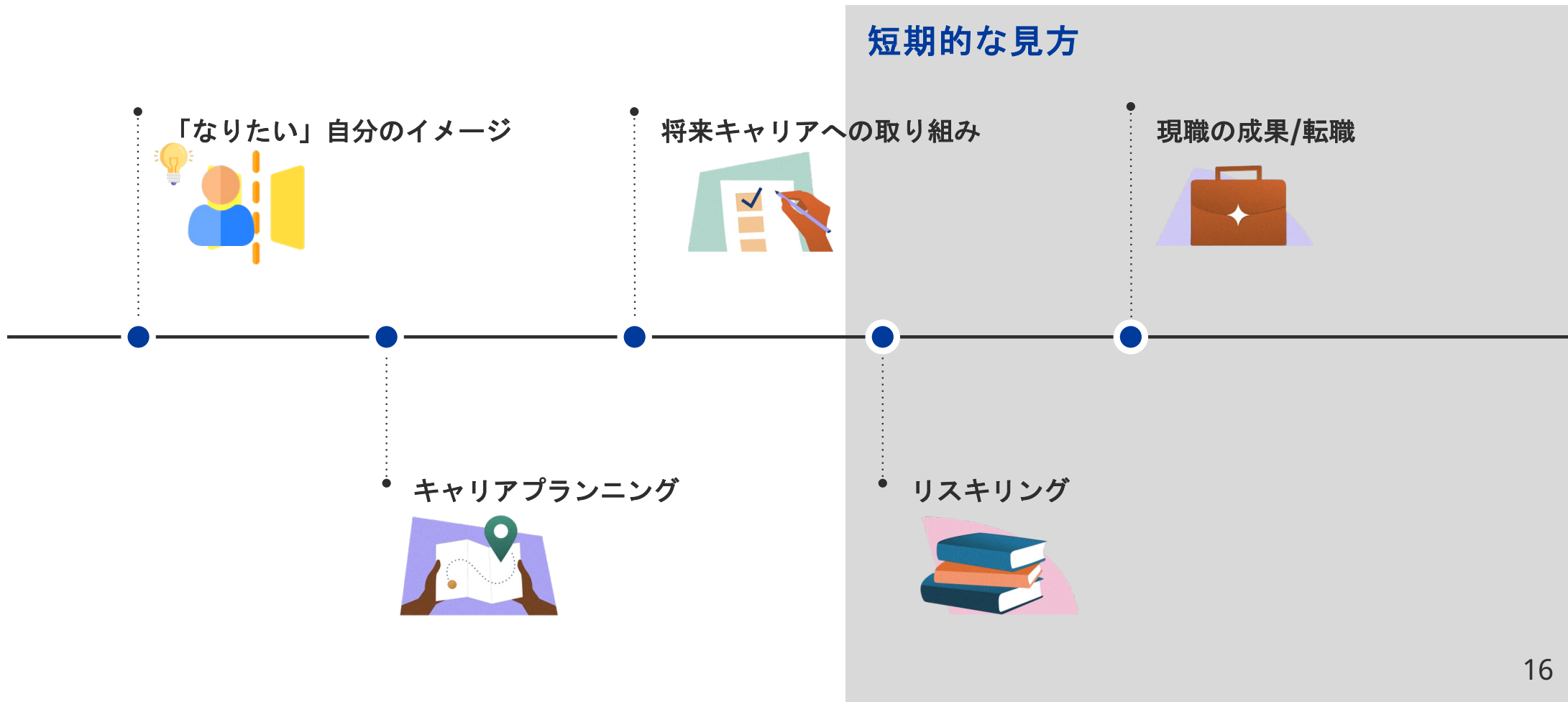
調査から見える、日本のリスキングの課題ポイント

- リスキングの量
- リスキングに対する考え

リスクリングに対する考え - 道程の全体像



リスクリングに対する考え - 1.目線の転換

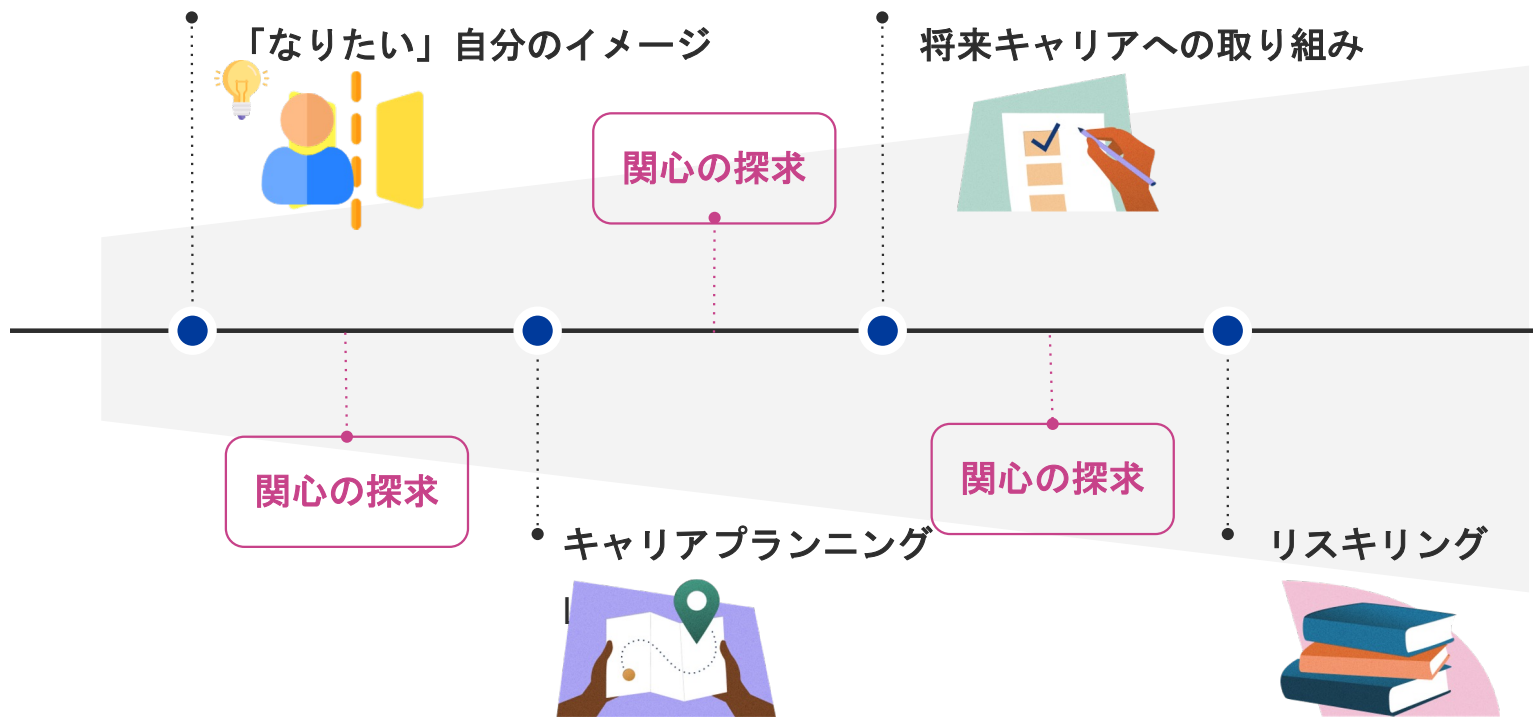


リスクリングに対する考え - 1.目線の転換

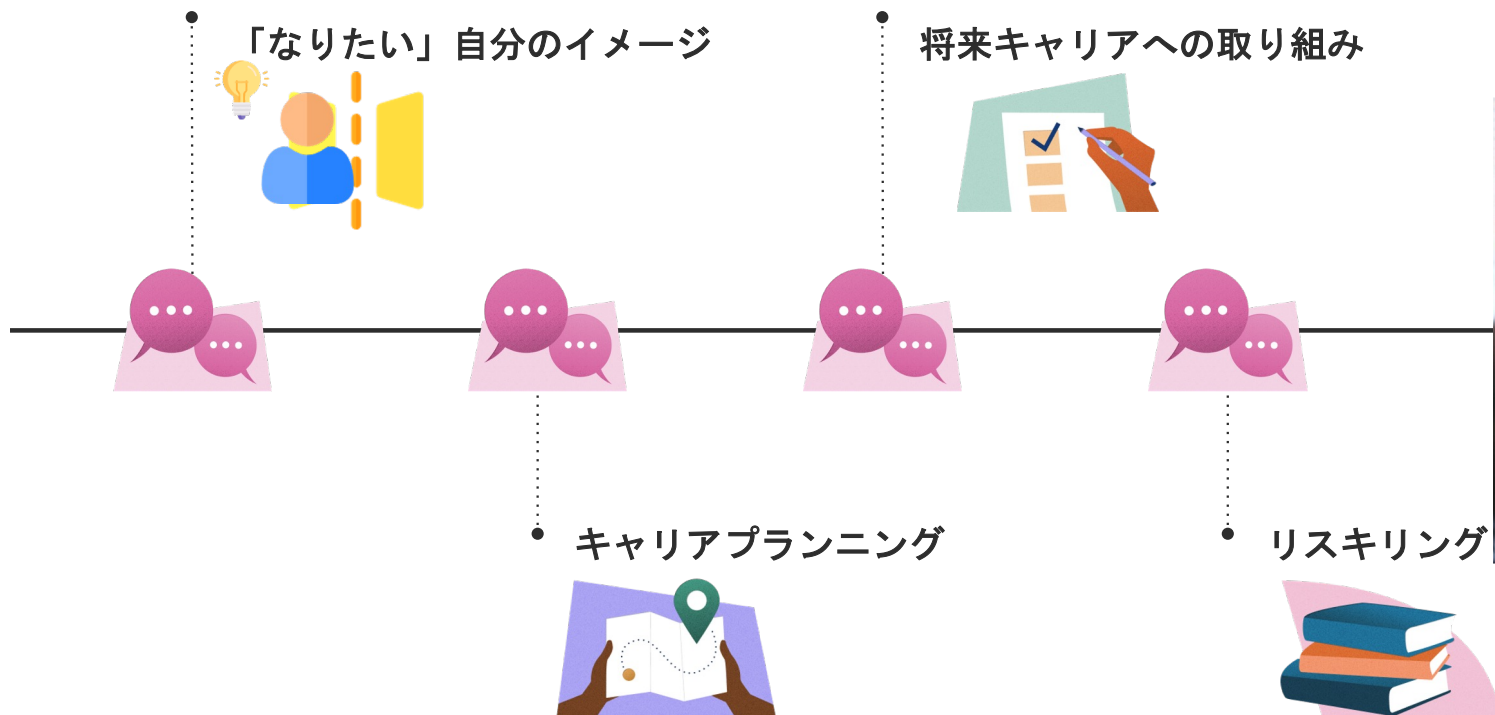
中長期的な見方



リスキングに対する考え - 2.学ぶ幅の広がり



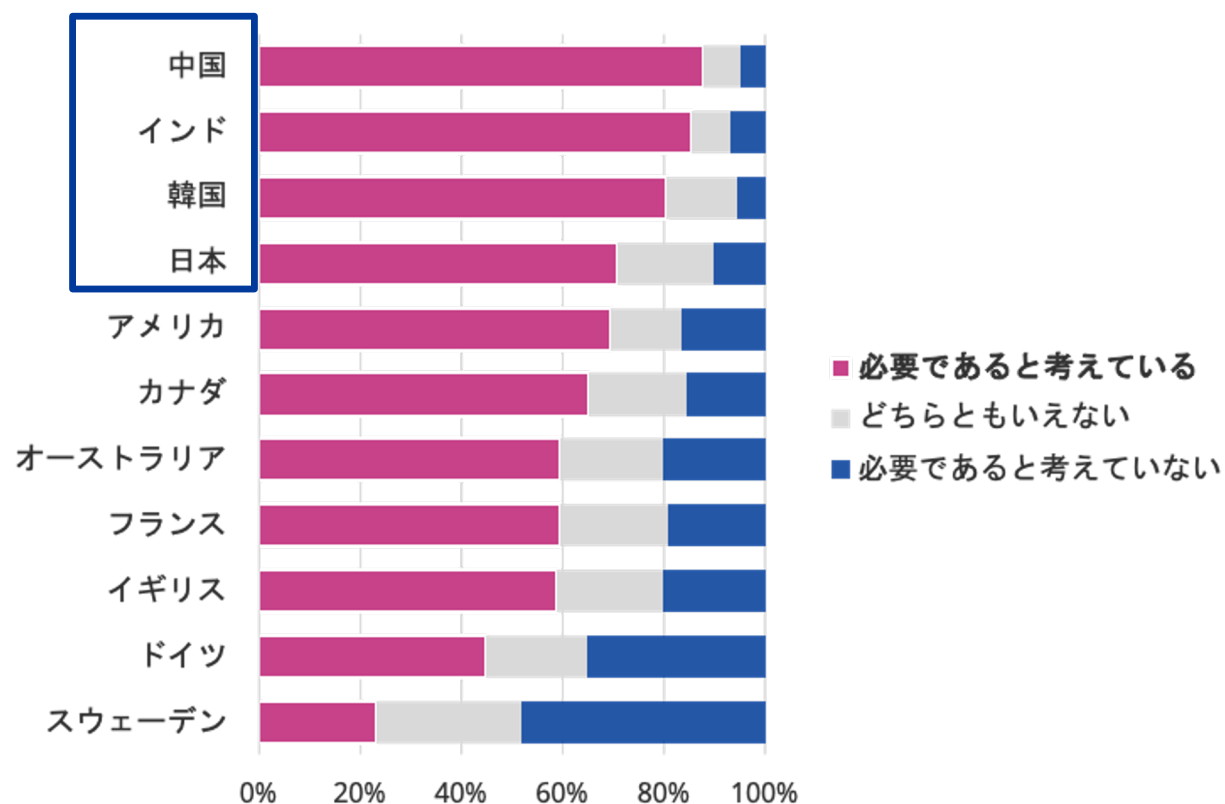
リスクリングに対する考え - 3.コミュニケーションを通じた設計



リスキリングは仕事をするうえで必要と考える国は多く、特にアジア諸国で強い傾向がある

Q.あなたは、仕事をしていくうえで、「学び」や「リスキリング」の必要があると考えていますか？
(ひとつだけ)

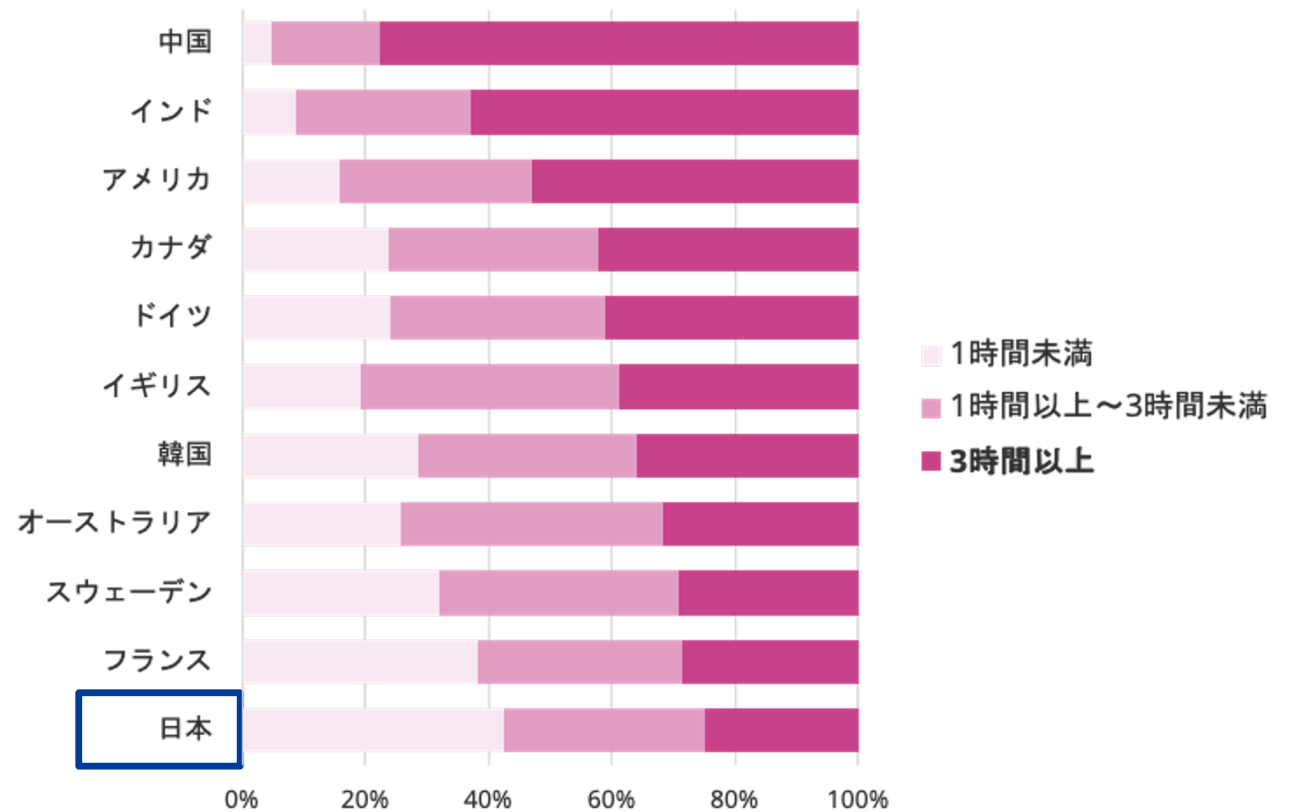
※1.全く必要であると考えていない、2.あまり必要であると考えていない、3.どちらともいえない、4.やや必要であると考えている、5.とても必要であると考えている、という選択肢に対して、以下のグラフでは「1と2」「4と5」を統合して集計。



出所:リクルート・Indeed 「グローバル転職実態調査2023」

日本はリスキリングの意識はあるが、実際の「量」となると最下位

Q.あなたは週何時間程度、「学び」や「リスキリング」に取り組んでいますか？（ひとつだけ）

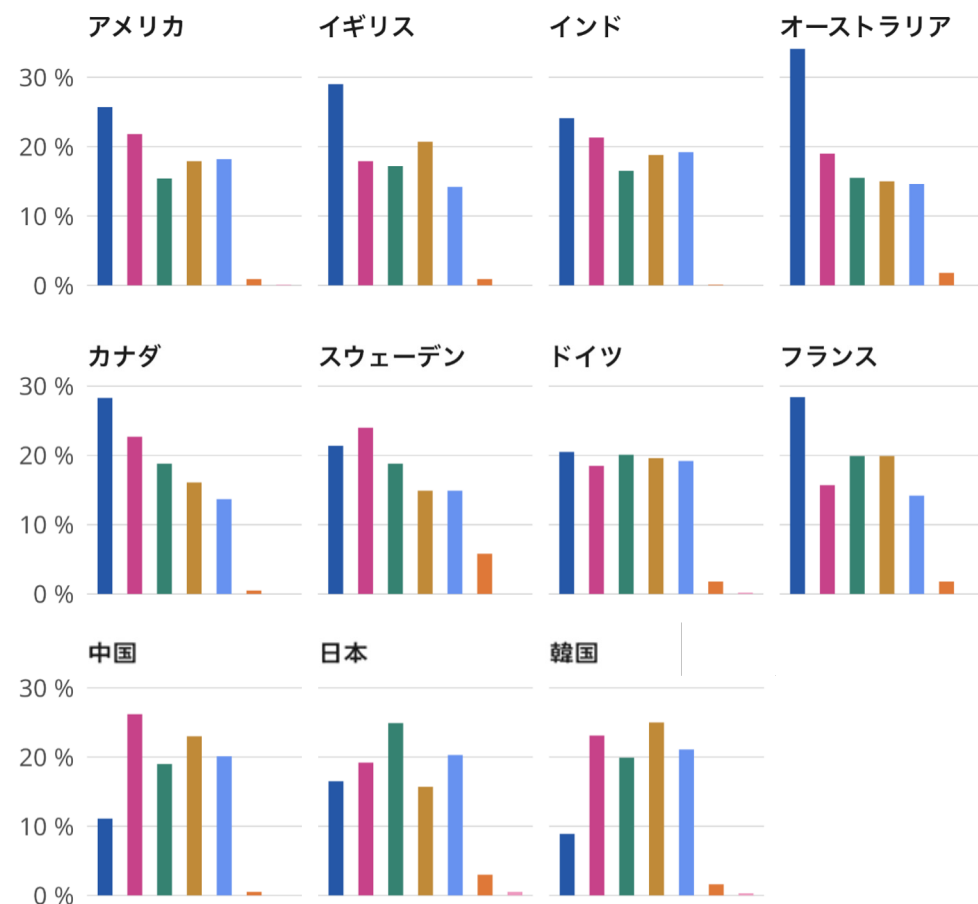
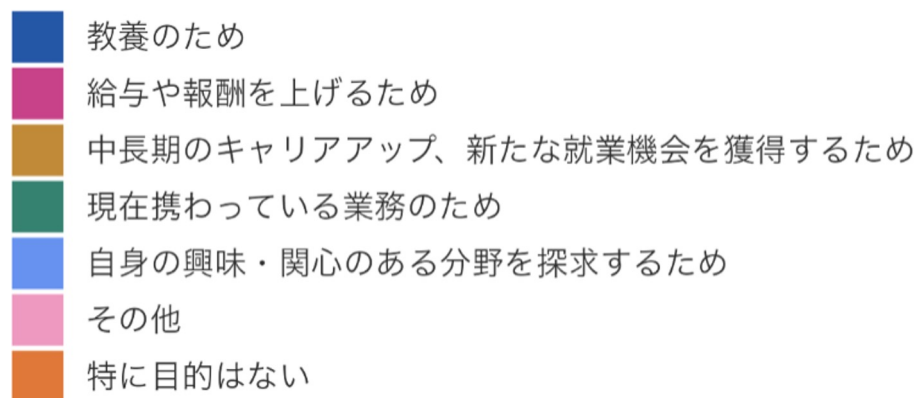


出所:リクルート・Indeed 「グローバル転職実態調査2023」

リスキリングは、必ずしも「給与や報酬を上げるため」 「現在携わっている業務のため」が目的でない

Q.あなたが「学び」や「リスキリング」
に取り組む目的は何ですか？

※最も当てはまるものを1位として最大3位までお答えください。掲載図表では1位のみ集計。

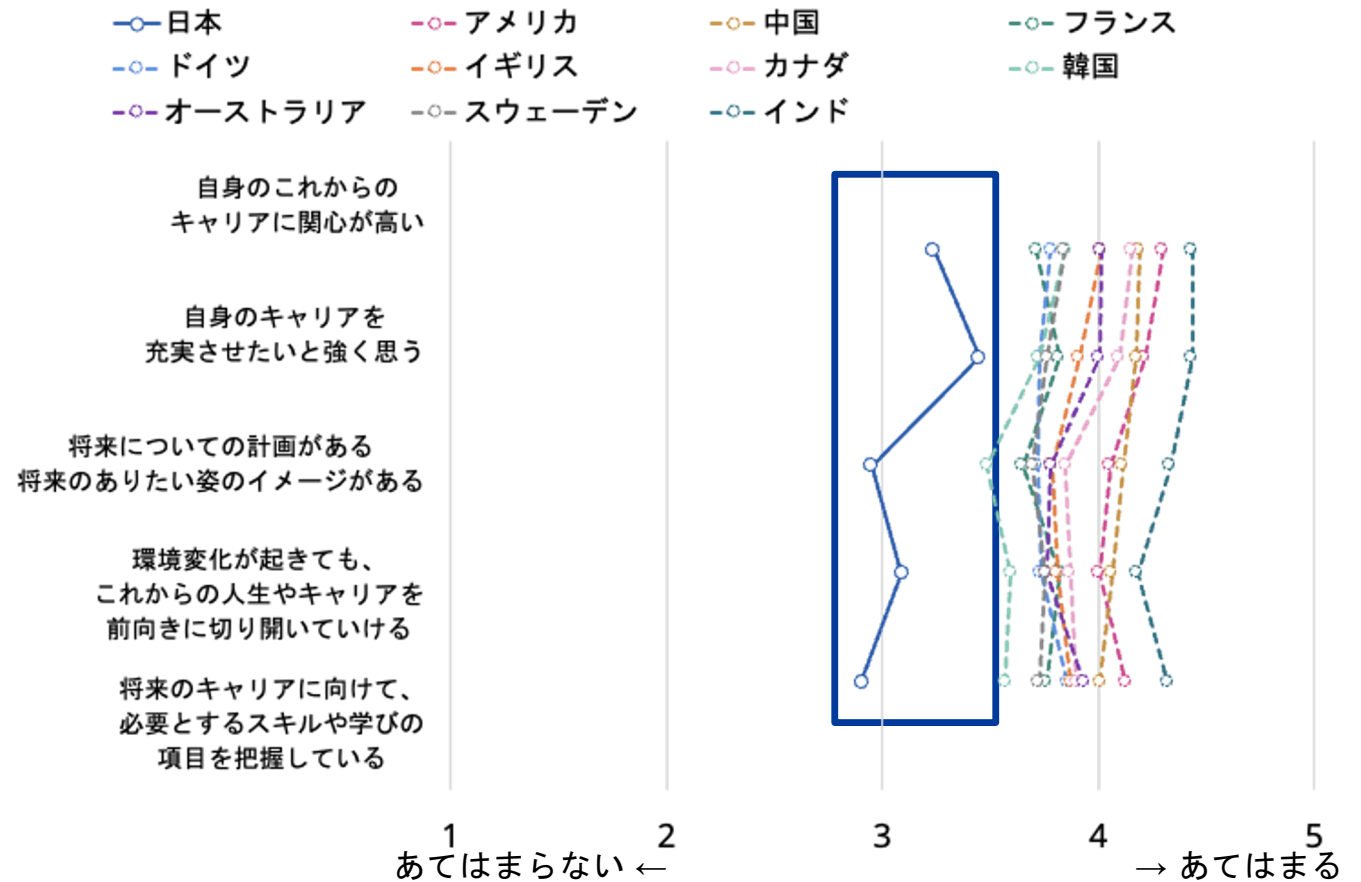


出所:リクルート・Indeed 「グローバル転職実態調査2023」

キャリアイメージ - 日本は「イメージできていない」割合が大きい

Q.あなたは「将来のキャリア」をどのように考えますか？
(それぞれひとつだけ)

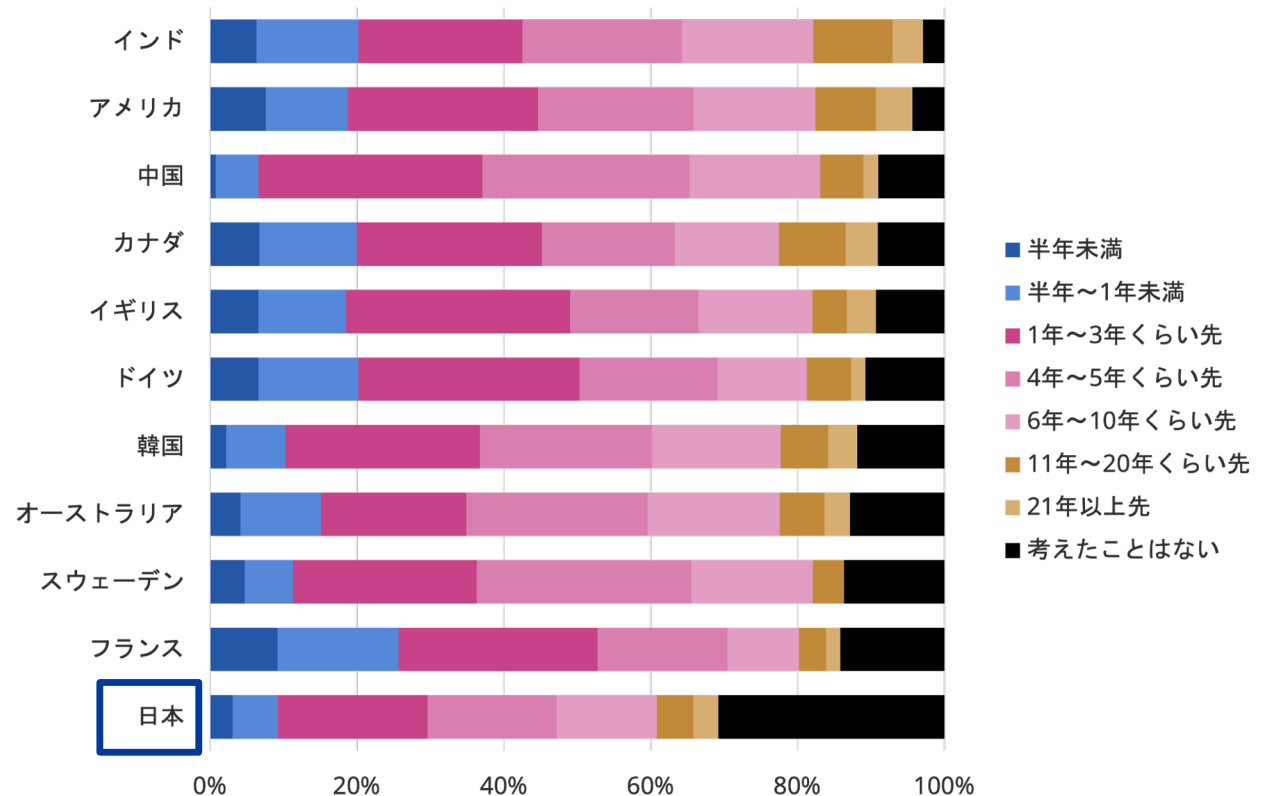
※1.あてはまらない、2.あまりあてはまらない、3.どちらともいえない、4.ややあてはまる、5.あてはまる、として平均スコアを算出。



出所:リクルート・Indeed 「グローバル転職実態調査2023」

キャリアの展望 - 日本は「考えたことはない」割合が大きい

Q.あなたは、どのくらい先のキャリアまで考えていますか？
(それぞれひとつだけ)
- 自分のライフ・キャリアのありたい状態について

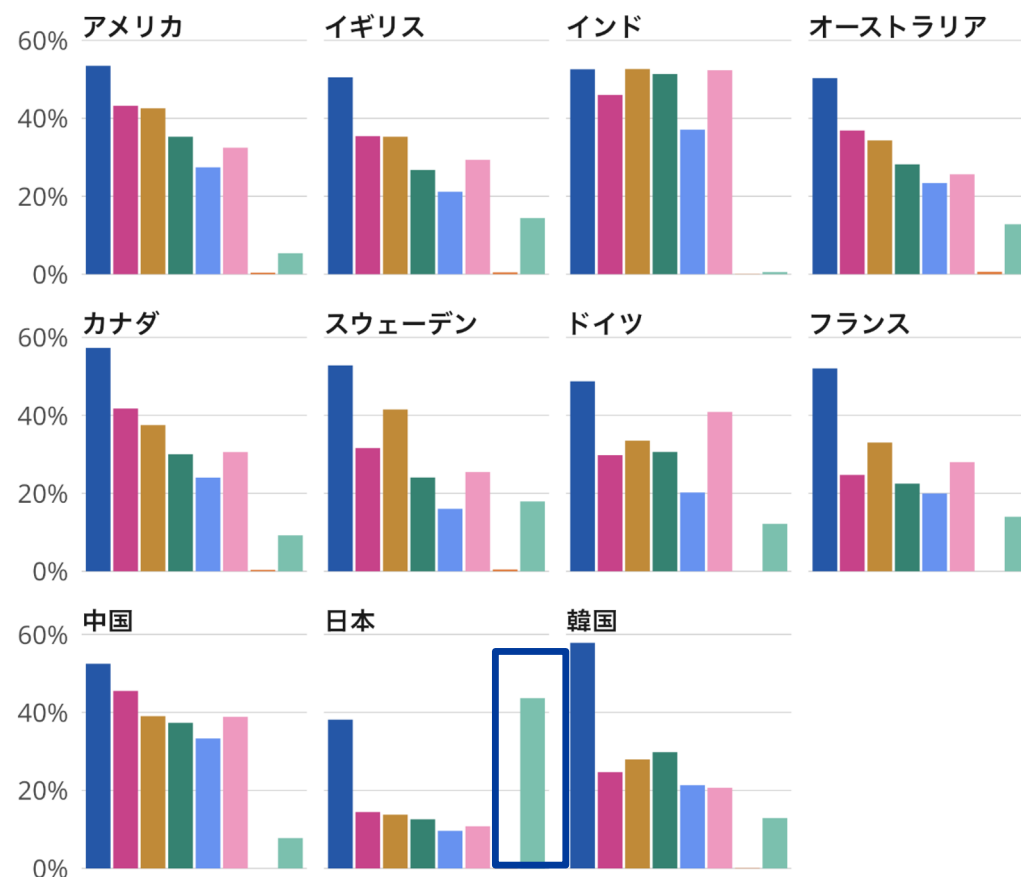
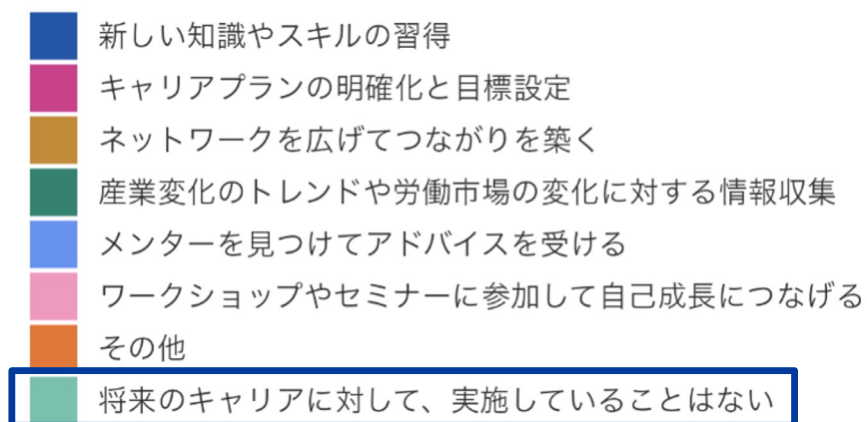


将来のキャリアに対して取り組んでいること - 日本の割合は小さい

Q.将来のキャリアに対して、取り組んでいることがあれば教えてください。

(いくつでも)

※各選択肢の回答割合(=各選択肢の回答数/回答者数)として算出。



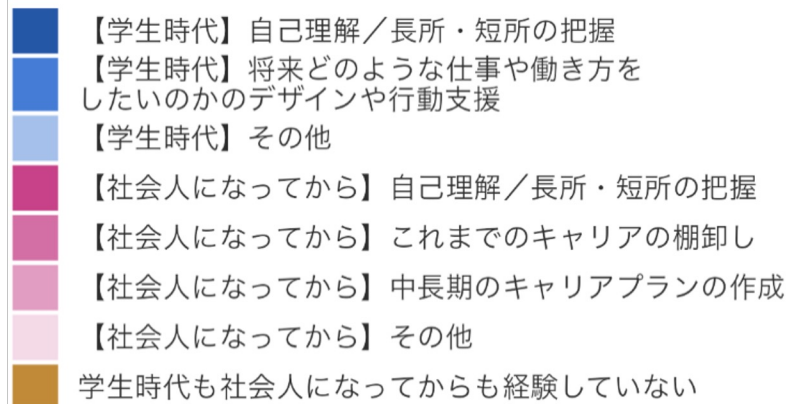
出所:リクルート・Indeed 「グローバル転職実態調査2023」

他者から取り入れることも大事 - 1. キャリアデザイン教育

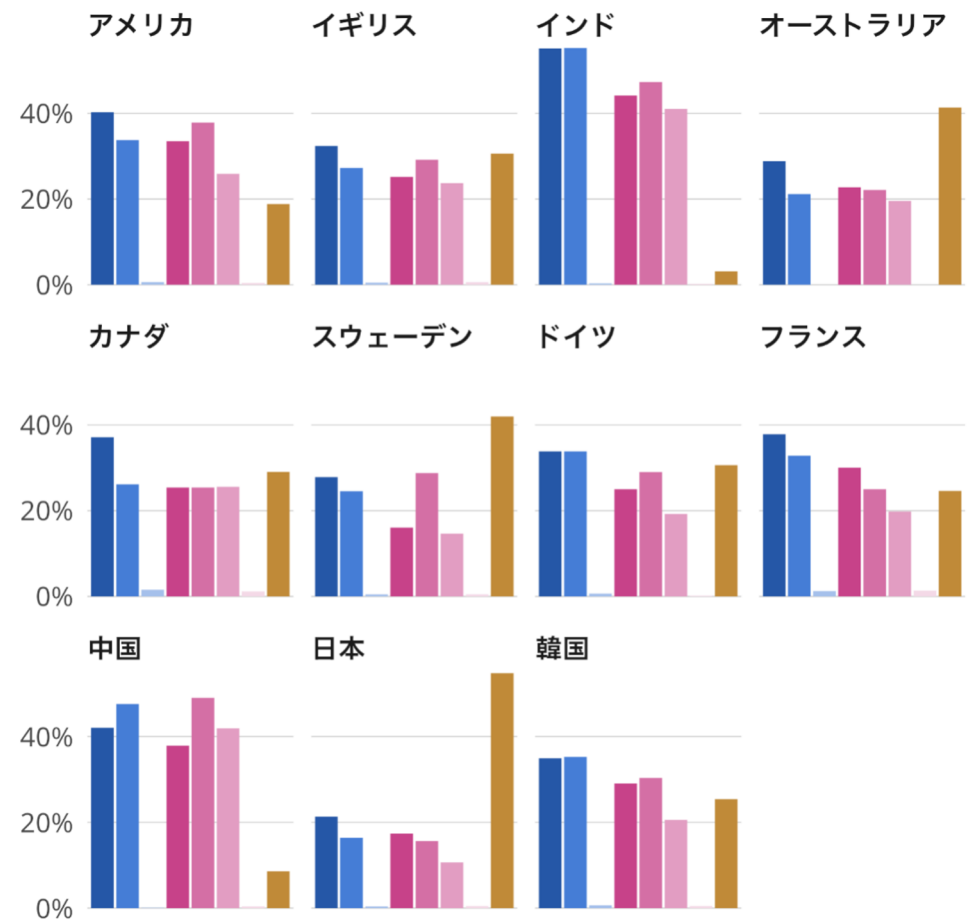
Q.あなたは、これまでにキャリアデザインに関する教育、研修等を受講したことがありますか？

（受講した経験のあるものを全て選択してください。）

※各選択肢の回答割合(=各選択肢の回答数/回答者数)として算出。



出所:リクルート・Indeed「グローバル転職実態調査2023」

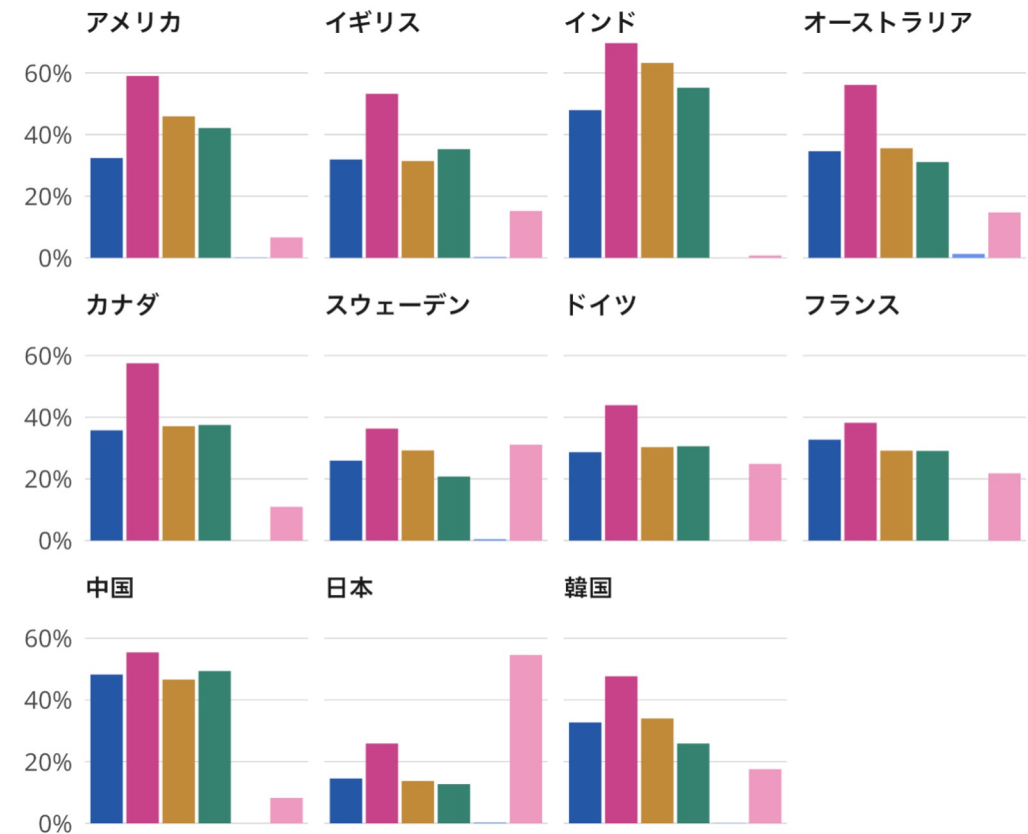
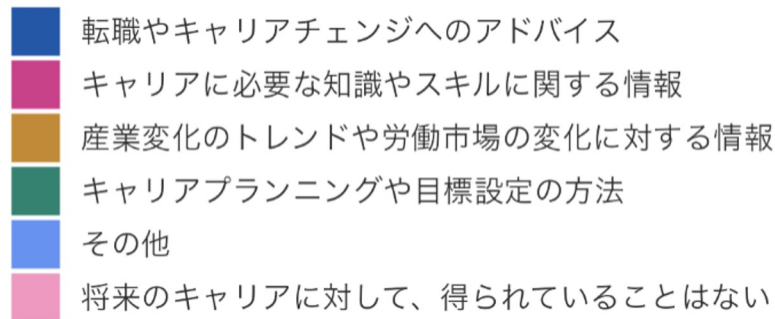


他者から取り入れることも大事 - 2.外部情報

Q.将来のキャリアに対して、得られていると思う情報やトピックスがあれば教えてください。

(いくつでも)

※各選択肢の回答割合(=各選択肢の回答数/回答者数)として算出。



出所:リクルート・Indeed 「グローバル転職実態調査2023」

「なりたい自分をイメージしてキャリアプランニング」 することが、高い賃金や役職につながる？



リスクリングに対する考え

1. 目線の転換(中長期的な見方)
2. 学ぶ幅の広がり
3. コミュニケーションを通じた設計



リスクリングの量

仮説

- 動機の説得力
- 抜け目のない行動やスキルの取得
- 雇用側から見て一緒に働きたいと思えるソフトスキル・パーソナリティ